

「能登半島地震に係る市長との対話集会」対話要旨（主なもの）

日 時：令和7年8月21日（木）午後7時～午後8時50分

場 所：伏木コミュニティセンター

質問

能登半島地震で被災した用排水路の復旧見通しは。また、伏木地区での浸水被害への対応は。

回答

道路側溝・雨水幹線・その他用排水路については、令和8年度末の復旧完了を目標に全力で取り組む。なお、その他用排水路の一部については、家屋下などを通るものもあるため、建物解体などの状況を見て、順次施工してまいりたい。また、浸水被害の対応については、何ができるか知恵を絞りたい。

質問

新たに策定する復興計画は、具体性のあるものにしてほしい。

回答

最大限努力してまいりたい。

質問

県道を通過する車両により振動等が発生しているため、早期に復旧してほしい。また、起伏の大きいところの対応を急いでほしい。

回答

県道下に埋設されている下水道復旧の調査や検討に時間を要したため、県道の工事発注を待ってもらっていたところであるが、今般、下水道の復旧工事が発注できるようになったことから、県道の復旧工事も順次発注すると聞いている。また、起伏が大きい等の危険な箇所については、現場を確認のうえ、応急処置等を検討するため、相談いただきたい。

なお、道路や下水道等のインフラについては、令和8年度末の復旧完了を目標に全力で取り組む。

質問

現状を分かりやすく記載している他市のロードマップを参考にしては。また、復興に向け、住民と専門家が直接話せる場や意見を吸い上げる窓口を設けては。

回答

ご指摘のように、見直すべきところや見習うべきところは参考にしていきたい。

質問

勝興寺や雨晴海岸、クルーズ船などの観光資源を活かして、伏木の賑わいづくりをしてほしい。

回答

私も同感である。

質問

住民が減少している中、地域コミュニティ維持のために公民館を再建したいが、検討に時間が必要である。自治会公民館再建支援事業の期限*を延長してほしい。

※現時点では、令和9年3月31日までに完了報告が必要

回答

貴重なご意見に感謝する。

質問

高齢となり、車に乗れなくなることが予想されるが、現状は、電車やバスが減便されている。災害対応のみならず、公共交通も切迫した課題であることを知ってほしい。

回答

公共交通も復旧・復興のように大きな課題と認識している。見守っていただきたい。

質問

空き地の草むしりなどの活動をしているが、人を呼び込む取り組みには市の協力が必要と感じている。他市事例のように商業施設などを誘致するためにプレハブを設置できないか。

回答

空き地の活用については、行政が対応できる範囲や実現性なども含め、住民、行政、専門家がともに考える必要がある。国や県にも知恵を借りて、何かしら形にできるよう努力したい。

質問

伏木に、被災者の声を聞く窓口を設けてほしい。

回答

地域おこし協力隊の活用例も参考にし、対応を考えたい。